

8

じんつうそくしんざい

陣痛促進剤

(သားအိမ်လှုံ့ဆော်ဆေးများ)

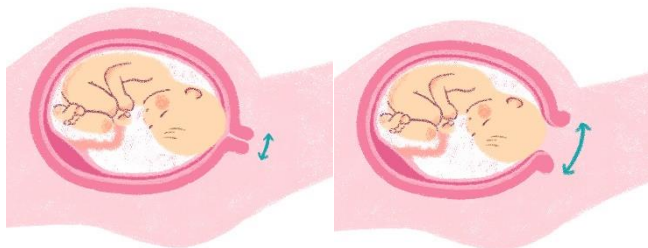


出産のとき、自然に体からプロスタグランジンとオキシトシンというものがでて、それらによって陣痛(子宮の収縮)がおこります。

しかし、陣痛がはじまらなかったり、陣痛がはじまったけどよわかったり、ママや赤ちゃんのために早めに出産した方がよい状況のときは、陣痛促進剤がつかわれます。それは、人工的につくったプロスタグランジンとオキシトシンで、点滴することによって、陣痛がはじまったり、陣痛が強くなったりします。

Q:どんな薬ですか？

A: プロスタグランジン:点滴やのみ薬があります。薬のはたらきは、子宮の出口をやわらかくします。また、強い陣痛がおこることがあります。喘息の人には使えません。



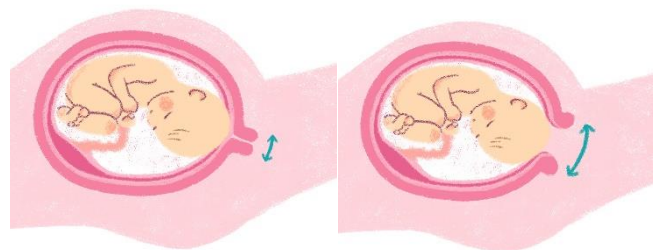
A: オキシトシン:点滴です。子宮の出口をやわらかくするはたらきはありません。また、弱い陣痛しかおこらないこともあります。

状態にあわせてどちらかの薬が使われます。使い方のルールにあわせて薬は少しずつ使います。

မီးဖွားရာဝယ် ခန္ဓာကိုယ်မှ ပရိုစတာဂလန်ဒ်နှင့် အောက်ဆီတိုစင်ဟူသောဟော်မုန်းများက သဘာဝအလျောက် ထွက်လာပါသည်။ ၎င်းတို့သည် သားအိမ်လှုံ့ဆော်ခြင်း (သားအိမ်မွေးလမ်းကြောင်းကျုံ့ခြင်း) ကိုလုပ်ဆောင်ပေးသည်။ သို့သော်သားအိမ်လမ်းကြောင်းမပွင့်ဘဲမီးဖွားမှုမစတင်နိုင်များ ခြင်းဖြစ်တတ်သည်။မိခင်ရောကလေးရောအတွက် လျှင်မြန်စွာ မွေးဖွားမှုလိုအပ်သောအခါ သားအိမ်လှုံ့ဆော်သောဆေးများကို အသုံးပြုကြသည်။ ထိုဆေးများဟာ တုပပြုလုပ်ထားသော ပရိုစတာဂလန်ဒ်နှင့် အောက်ဆီတိုစင် ဟော်မုန်းဆေး တို့ဖြစ်ပြီး ၎င်းတို့ကို ထိုးသွင်းကာ သားအိမ်ကျုံ့စေ၍မီးဖွားမှုကို လှုံ့ဆော်ပေးပါသည်။

Q:ဘယ်လိုဆေးမျိုးတွေလဲ?

A: ပရိုစတာဂလန်ဒ်:ထိုးဆေးလည်းရှိသလို သောက်ဆေးလည်းရှိပါသည်။ဆေး၏အာနိသင်မှာသားအိမ်လမ်းကြောင်းကိုနူးညံ့စေပါသည်။ထို့နောက်အားကောင်းသောသားအိမ်ကျုံ့ခြင်းကိုဖြစ်စေသည်။ပန်းနာရောဂါရှိသောသူများတွင်အသုံးမပြုပါ။



A :အောက်ဆီတိုစင်:ထိုးဆေးသာရှိသည်။သားအိမ်လမ်းကြောင်းအားနူးညံ့စေမှုမဖြစ်စေပါ။ထို့အပြင်အားပျော့သော သားအိမ်ကျုံ့ခြင်းကိုသာဖြစ်စေသည်။

မိခင်နှင့်ကလေးအခြေအနေကိုမူတည်ပြီးဆေးများကိုအသုံးပြုပါသည်။အသုံးပြုရမည့်နည်းစနစ်အတိုင်းဆေးကိုအနည်းငယ်စီ သာသုံးကြပါသည်။



Q: どうして陣痛促進剤をつかうのですか？

A: 赤ちゃんの状態が悪くなっているときは、出産して必要な治療したほうがよいため、早く出産するために、陣痛促進剤を使います。

たとえば、陣痛がくるまえに破水したときは、感染をおこすことがあります。それによって赤ちゃんの状態が悪くなることがあります。ママが妊娠高血圧症候群(HDP)や妊娠糖尿病(GDM)などと診断されているときは、ママや赤ちゃんに悪い影響が出ることがあります。予定日からかなりすぎてしまったのに出産にならないときは、赤ちゃんに栄養をおくる胎盤のはたらきが悪くなり、赤ちゃんの状態が悪くなったり、赤ちゃんが大きくなりすぎたりすることがあります。

また、陣痛が弱いままで強くならないときは、出産までに時間がかかり、赤ちゃんの状態が悪くなりますし、ママもとても疲れてしまいます。



Q: 陣痛促進剤の副作用は？

A: 効果が人によって違います。

点滴をしても効果がでないことがあります。あまりないことですが、陣痛促進剤によって陣痛が強くなりすぎたり、子宮が破裂したりする可能性もあります。そうならないために、陣痛促進剤を使うときは、必ずルールに沿って使われています。

Q: 陣痛促進剤は、赤ちゃんにどんな影響があるのですか？

A: 陣痛促進剤は、赤ちゃんに悪影響を及ぼすことがありますが、陣痛促進剤を必要とする場合は、赤ちゃんの状態が悪くなっているため、早く出産するために、陣痛促進剤を使います。

たとえば、陣痛がくるまえに破水したときは、感染をおこすことがあります。それによって赤ちゃんの状態が悪くなることがあります。ママが妊娠高血圧症候群(HDP)や妊娠糖尿病(GDM)などと診断されているときは、ママや赤ちゃんに悪い影響が出ることがあります。予定日からかなりすぎてしまったのに出産にならないときは、赤ちゃんに栄養をおくる胎盤のはたらきが悪くなり、赤ちゃんの状態が悪くなったり、赤ちゃんが大きくなりすぎたりすることがあります。



Q: 陣痛促進剤は、赤ちゃんにどんな影響があるのですか？

A: 陣痛促進剤は、赤ちゃんに悪影響を及ぼすことがありますが、陣痛促進剤を必要とする場合は、赤ちゃんの状態が悪くなっているため、早く出産するために、陣痛促進剤を使います。